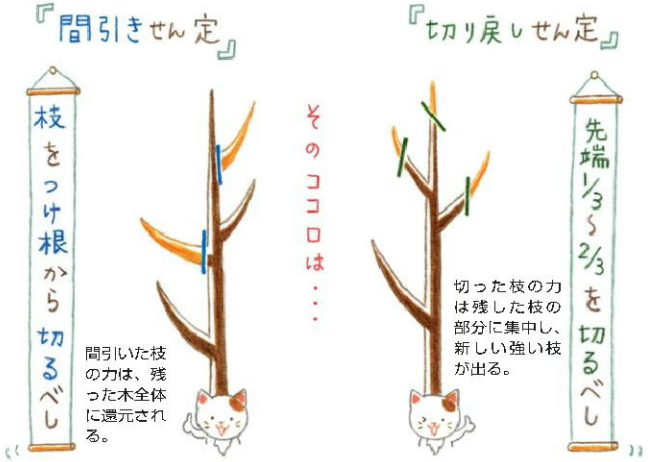

切るのは、同じ所から多数出る車枝、強すぎる徒長枝、平行枝、交差枝、内向枝、下がり枝などの不要枝。

剪定により、木を暴れさせず、弱らせず、木の力を制御して、きれいな形の木を作る。植物の内部まで光が入り、新芽が十分発育する。

うに切る。

【バラの剪定】

●花が終わったら、太い茎が残るように強めに（深く）切り戻す。基本は5枚葉が出ている芽まで切り戻す。

●樹形を整える大きな剪定は、真夏と真冬に行う。

プレゼント

「微粉ハイポネックス」120g・609円を10人に。植物の組織を強健にするカリを多く含み、色つやの良い元気な植物を育てます。植え替えや剪定後の樹勢回復に。梅雨前や秋には特に効果的です。23字の応募要領で。プレゼント番号＝30、賞品名＝微粉ハイポネックス　商品提供＝ハイポネックス ジャパン ☎06−6396−1119　http://www.hyponex.co.jp

指導／園芸家・中道徹三郎　協力／ガーデンショップ金久 大阪府泉佐野市日根野2545 ☎072−467−2413　イラスト／小阪裕子

美しく咲いたバラ

【剪定（せんてい）と切り戻しでリフレッシュ】

植物を切るのは、枯らしたり、形が悪くなったりしないかとためらいがち。でも、樹木や草花を若返らせ、続けて花を楽しむために、剪定や刈り込みは欠かせません。コツを知って、植物の元気を取り戻しましょう。

【若返りと整形に効果的】

●不要な枝を除き、伸び過ぎた枝の先端を切り詰め、木の形を整え、美しい形を作り上げる。

●植物の内部まで光を当て、充実した新芽を多く作る。

●バラなどの四季咲き花木では、花後に枝を深く切り戻し、太い新しい枝を吹かす。

●草花では、花の終わった茎を早めに切り込み、背丈を低く整え、株をリフレッシュする。

【適期は常緑樹と落葉樹で異なる】

●常緑樹は、7月上旬と9月中旬〜10月上旬が適期。飛び出した新芽や不要な芽は随時取り除く。

●落葉樹は、落葉後の11月〜3月が適期。寒い場所では厳寒期は枝枯れが出るので深く切らない。

【枝を切るコツ】

●切り口は、水がたまらないよう斜めに切る。

●太い切り口は癒合剤などでふさぐ。

●切り口は早く乾かす。

【花木は花が終わった後に】

●花が終わった直後に新しい花芽を作る種類が多いため、花後すぐに花がら摘みを兼ねて切り戻す。

●椿やツツジなどを秋冬に剪定する時は、膨らんだ花芽がすぐに分かるので、必要な芽を残して切る。

【草花は株元に光を入れる】

●葉が茂ると光が遮られ、枯れたり、強い新芽が出なかったりする。花が半分ぐらい終わったら、きれいな葉を2、3枚残して株元に光が入るよ